

N. H. 英語英文学科・3年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

高校生の頃 3 週間オーストラリアに短期留学した際に、長期間で留学したいとなんとなく考え始めたことがきっかけです。具体的には、同志社女子大学に入学が決まり協定留学の存在を知った際に、費用の面で留学が可能だと考え留学を目指し始めました。私は本来 2 年秋からの留学予定だったのですが、コロナの影響で出発が 3 年秋まで延びてしまいました。就活への悪影響を考慮し一時は諦めようかとも思ったのですが、父に強く促されたこともあり、就活が失敗する覚悟で留学を決意しました。（笑）

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

IELTS を受験したため、1 回生の春秋学期で IELTS 対策用の授業をとりました。本来は第二言語の必修と重なっていたので、とることができなかったのですが、他学科の言語の授業をとれるようにしてもらい受けることができました。基本的には参考書を解く、また IELTS 専用の単語帳で単語を覚える勉強をしていました。また、IELTS にはスピーキングがあるので、知り合いのイギリス人の方の家に週 1 で遊びに行かせていただき、会話の練習をしていました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

コロナで出発できない予定だったのが、6 月末くらいに急に変わったので、とても準備が大変でした。必要なワクチン接種は、2 年秋からの出発に向けて 1 年前に打ち終わっていたのですが、ビザの申請をするのがぎりぎりになってしまいました。面接日の予約ができない可能性があったので、一生で一度だけ使える緊急申請をしてビザの面接を受けました。また、それまでの書類作成等の作業も難しく時間がかかったので、できるなら早めに取り掛かるのがおススメです。大きな声で言えませんが、私は授業を休んで書類作成に取り掛かるほど、追い込まれている状況でした。（笑）行きの飛行機は留学生全員で同じ便に乗ったため、電話をして話し合いしながらチケットをとりました。それまで自分で飛行機のチケットをとった経験がなく、大金がかかるので緊張感もあり大変でした。留学準備の全てにおいて言えることですが、予想以上に大変で時間もかかります。また、保険の加入、授業の読み替え依頼、PCR 検査など、コロナの影響もありやることが山ほどありました。

④ 現地到着後

飛行機の関係で、シャーロットビル空港に着くのは深夜だったので、近くの double tree by Hilton ホテルで 1 泊しました。ホテルまでは 24 時間運航のシャトルバスが出ており、現地についた後、電話をして迎えに来てもらいました。1 泊して次の日の朝に、MBU の先生にホテルまで迎えに来てもらいました。学校までは車で 1 時間ほどかかりました。

学校に着くと、2人の現地の学生が出迎えてくれて、一緒にオリエンテーションを受けました。彼女たちはオリエンテーション期間が終わった後も、ことあるごとに遊びに誘ってくれたり、助けてくれたりした大切な友達になりました。日本人学生に興味がある学生が立候補してくれているので、オリエンテーションで会う学生が初めての現地の友達になる可能性が高いと思います。

オリエンテーションでは学校の施設案内、寮の使い方などの説明などを受けました。またその期間で履修を組んだのですが、本来考えていた授業が開講されていないものが多かったため、再度履修を組みなおすのが大変でした。MBUのホームページに年度ごとに開講授業が記載されたカタログが載っているのですが、その授業が全て開講されるという訳ではないので、注意してください。事前に開講される授業を知るためには、学校にメールで問い合わせ、書類を送ってもらう必要があると思います。

⑤ 語学研修期間

◆ 語学研修先の施設・環境について

語学研修期間はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

学校内の施設は綺麗で充実しています。図書館も夜の12時まで空いているので、夜遅くまで勉強することが可能です。

◆ 履修科目

秋学期

・SOC112A Social Problems

授業の内容に興味があり、受講しました。アメリカの社会問題そのものというよりも、社会問題ができるプロセスを学びました。レポートとオンラインのテストがありました。先生はとても親切な方で、いつも留学生を気にかけてくださる姿に救われていました。

・SOWK265 Mindfulness Self-Compassion

先生におススメされてこの授業をとりました。毎日マインドフルネスを行って日記をつける課題と授業のリフレクション、学期末にはプレゼンテーションを行いました。先生がとても親切で、アットホームな雰囲気のクラスでした。

・BUAD250 Gender in the Workplace

秋学期の授業の中で最もハードなクラスでした。主にキャリアとジェンダーの関係性について学びます。授業前の大量のリーディングを基にディスカッションをします。また、レポートやグループプレゼンもハードでした。

・COMM100 Public Speaking

プレゼンテーションの授業なので、プレゼンのスキルやスピーキング力が上がると思いま

す。授業内で3-4回プレゼンテーションを行いました。アットホームな雰囲気でした。

• **DAN150 Dance Performance Group**

発表会に向け、3曲の演目を完成させました。ジャンルは様々で、授業時間外の練習もありました。ダンス経験者ばかりで予想以上に厳しく指導されたので、初心者の方は他のダンスのクラスをとる方が良いと思います。

• **JPNS201 Intermediate Japanese I:**

ティーチングアシスタントとして参加しました。少人数クラスでしたが、日本に興味のある学生ばかりなので仲良くなりやすいと思います。また、日本語を教えることにやりがいも感じられました。

• **MBU101W Planning for MBU Degree**

1回生は全員必修科目として受講する必要がありました。週1回の授業で、MBUでの過ごし方について考えました。

春学期

• **HIST266 African-American History, from 1865**

差別問題に関して現地で本物の知識を得たいと思い黒人史の授業を受けました。対面での小テストや学期末のテストがあり、エッセイの内容も難しくリーディングも多かったので、全学期合わせて一番大変な授業でした。

• **ED115A Foundation of Education**

私のゼミが第二言語学習に関する研究をしているので、内容に共通点があると考え受講しました。先生がとても親切で、授業にグループワークを多数含んでいたのが楽しく受講できました。

• **SOC100A General Sociology**

秋学期の Social Problems と同じ先生の授業です。こちらの方が具体的な社会問題を多く扱いました。授業スタイルは似ており、ディスカッションやオンラインテスト、エッセイを含んでいました。

• **COMM280 Intercultural Communications**

世界の様々な文化を学びました。日本のことをきいてもらう機会も多く、日本とアメリカの違いをシェアできることが嬉しかったです。対面でのテストやエッセイの課題がありました。先生がとても親切でした。

• **PSYC101B Introduction to Psychology as a Natural Science**

心理学に興味があるので受講しました。基本的にディスカッションはあまりなく先生の話聞くことが多かったです。対面のテストがありましたが、小テストは時間が足りないのがオンラインでの実施にしてもらいました。

• **PHE179A Horseback Riding**

乗馬のクラスを受講しました。近くの牧場に行き馬に乗ります。私はたまたま 1 人でクラスを受けられたのでプライベートレッスンのような状態でした。追加料金がかかります。

・ **DAN151 Broadway Jazz Dance**

こちらのダンスのクラスは初心者の方も多く、穏やかな雰囲気です。ブロードウェイジャズを学校で学べる機会はないので、良い体験ができました。

・ **JPNS202 Intermediate Japanese I**

秋学期に引き続きティーチングアシスタントを続けました。

メイトーム

・ **SPAN277 Spanish Speaking and Latinx Communities in Virginia and Washington, D.C.**

スペイン語が話せなくても受講できます。

スペイン、ラテン系の文化を学びます。4 度の日帰りのフィールドトリップと、1 泊 2 日でワシントン D.C.に行きました。先生も学生も親切でした。追加料金がかかります。

◆ **授業、レポート、定期試験**

全体的に授業前のリーディングが大量にあります。また、ディスカッションを含む授業が多く、英語で自分の意見を言うことが難しかったです。日本で書いていたものとは比べ物にならない量のレポートを書きました。テストの難易度はクラスによりますが、本当に難しいクラスだと全く点数が取れずに困ったこともありました。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

クラブには入りませんでしたが、たまに COSMOS という国際交流サークルの活動に参加しました。1 度、近所の施設づくりを手助けするボランティアにも参加しました。

⑧ **現地での住まい**

基本的に現地学生も含め皆寮生活だったので、ホームステイの選択肢はありませんでした。例年は週末に遊びに行ったりするホストファミリー制度があったそうですが、私の時はコロナの影響でその制度も活用することができませんでした。留学生は一番新しい PEG という寮に住まわせていただき、衛生面で困ったことはありませんでした。ご飯は大学内の食堂で、土日も含め 1 日 3 食食べることができます。寮の中にキッチンもありますが、料理器具の品ぞろえが悪いため料理に適した環境ではありません。食堂のごはんはおいしく、またアメリカらしい高カロリーなものも多かったです。(笑) 食堂ではアジア料理のコーナーで寿司など日本食も結構な頻度で食べることができ、サラダバーも充実しています。また、学校内のカフェもミールプラン内で使うことができます。ミールプランはいつでも食べられるタイプのものを選択していましたが、1 週間 21 食のものでも問題なく使えていたのでこちらでよかったと思います。私は 9 か月で 6-7 キロ太ったので、太ることは覚悟しておいた方が良かったです。(笑) また、PEG から教室までは 3-5 分で行くことができたため、朝はぎりぎりまで寝ていました。(笑)

⑨ 長期休暇の過ごし方

Fall break はシカゴ旅行に行きました。他大学に留学していた同女のお友達と旅行したため、現地集合となりました。

Thanksgiving break はアメリカ人の友人の実家に遊びに行かせていただきました。その子
の家へ車で6時間ほどかけて連れて行ってもらいました。Thanksgiving break は日本のお
盆のような感覚で親戚が家に集まるので、その中に入れていただきました。ご馳走を振る舞
っていただくなどおもてなしをしていただき、至れり尽くせりでした。(笑) ホストファミ
リー制度が利用できない中、アメリカの家庭の文化に触れる機会を持つことができ私は恵
まれていたなと思います。アメリカ人の方は家に行きたいと言うと喜んで招待してくれる
方も多いため、遠慮せずに仲良くなった友人に頼んでみるのもおすすめです。

Winter break は1か月ほどあるのですが寮にいたことができなかったため、1か月間旅行
にいきました。グランドキャニオン→ロサンゼルス→ディズニーワールド→ニューヨーク
の順にアメリカを横断しました。旅行の期間が長いため計画をたてるのがかなり大変で
旅行中はハプニングも何度か起きましたが、それも含めて一生忘れられない思い出となり
ました。

Spring break はラスベガスに行きました。この頃には、アメリカでの旅行にかなり慣れて
いました。私は旅行費用を自分で出したため、1回生からこつこつバイトして貯めた貯金を
使い果たして旅行する形となりました。(笑) お金はかなり使いましたがそれでも後悔しな
い経験ができたので、旅行をたくさんしたい人は早いうちから貯金を頑張っておくと良い
です。また、飛行機のチケットなどは時期がせまると値段が上がってしまうため、旅行計画
は早めにたてるのがおすすめです。都市部では治安が悪い場所もあるので、事前に知識を
いれておくことで危険が回避できると思います。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

私は3年次8月から4年次5月までの留学だったので、就活の大事な時期と完全にかぶっ
ていました。(笑) 留学前までは就活をしていたのですが、留学開始と共にお休みし（イン
ターンは少しだけ受けていた）、本格的に再開したのは年明けからでした。コロナの影響で
面接もオンラインで行われることが多かったため、日本の企業の就活にアメリカからの参
加が可能でした。必然的に日本時間でセミナー等をうけていたため、アメリカでは深夜に就
活をする形となりました。午前3時～5時にベッドに入る生活を、1月から4月くらいまで
ほぼ毎日続けていたので、睡眠不足で死ぬかと思いました。(笑) また、ES作成や面接対策
に忙しい時は授業の予習がおろそかになってしまい、留学しているのにそれはどうなのか
と思う葛藤もありました。しかしその結果、留学期間内に希望の企業から内定をいただくこ
とができました。

大切なことは自分の価値観にあったやり方を取捨選択することだと思います。自分の将来

のビジョンが明確にあるのかないのか、どれだけ留学にける思いが強いか、それによって就活を留学中にするなら、就活の裁量をしっかりと考えないと留学を終えた後に後悔が残ると思います。私の場合、就活はできる分だけしてあくまでも留学生生活を優先したかったので、友人と遊ぶ約束は断らないようにし、授業も課題はしっかりするようにしていました。私も就活と留学の裁量に関して周りの人から様々なアドバイスをうけて混乱したり、日本にいる友人が就活に打ち込む姿を見て焦ったこともありましたが、その経験を経ていえることは自分のやり方は自分で選択すべきで、周りに惑わされるのはよくないと思います。留学中の就活はかなりハードですが、留学生用イベントや留学生向けの就活サイトなど方法がないわけではありません。留学と就活時期が被っている方は、自分のやり方で頑張ってください！

- ・留学生向けイベント：<https://careerforum.net/ja/event/>
- ・留学生用サイト：<https://kikokugo.com/>

他にもあると思います！

Ⅱ. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

最も思い出に残っていることは、学校生活を通して日本人留学生も含めた様々な人種の人たちと人間関係を構築できたことです。もともと他の3人の留学生と学年が違ったこともあり面識がなかったのですが、共同生活を通して深い関係になれたと思います。また春学期からはインドや台湾からの留学生がきたので、彼女たちと週末に遊びに行ったりして仲良くなることができました。同じ授業をとっているアメリカ人学生と仲良くなることもありました。アメリカでは、友達に友達を紹介する文化が根付いているので、友達にその友達を紹介してもらって一緒に遊ぶ機会がよくありました。ほとんどの生徒が学校内の寮に住んでいるので、夜に部屋に遊びに行ったり、学校の近くのダウンタウンで遊ぶことが多く、比較的交流がしやすい環境だったと思います。彼女たちと会話をする中で、異文化理解を深め生きた英語を学ぶ良い機会になりました。留学生同士だと仲良くなりやすいのですが、現地の学生と仲良くなるのはなかなか難しかったです。私はもともとフットワークが軽いほうではないのですが、友達になりたいがために留学中はフツ軽になってどんな状況でも誘われたら遊びに行くようにして（笑）、会ったときは積極的に話しかけていました。また、英語がうまく話せないときも友好的な態度をとることで、友達になりたい意志を見せるようにしていました。実際に困ったときは友達に頼んで助けてもらうことが何度もありましたし、授業と同じくらい友達との会話は学ぶことがたくさんあるので、今振り返ってみても仲良くなれるように頑張ってたよかったです。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

まず授業に関すること全般が大変でした。渡航後すぐは授業内容が理解できず、7割くらい聞き取れない授業もありました。授業によって授業前のリーディングが山のようにあったり、レポートも日本で書いていたよりはるかに多い量の枚数を書いたりしていました。英語でのディスカッションやグループワーク（プレゼンテーション等）を含む授業は特に大変でした。大変な授業の前は、とても憂鬱な気分でした（笑）なので、比較的楽な授業と大変な授業を両方とっておくと良いと思います。本当に無理だと思った授業に関しては、オフィスアワーを活用して先生に相談し特別措置をとってもらうこともありました。

また日常会話の中で、1対1で会話するときにはうまく話せても、ネイティブの中に混じるとどうしても発言できなかつたり話についていけなくなることもあり疎外感を感じる時期がありました。私は英語が上手でないことに関して開き直り、会話に参加できなくても笑顔でいることで対処しました。（笑）良い意味でマイペースに開き直る能力は、留学中に必要だと思います。

就職活動と留学を両立させることも、時間的・体力的にかなり大変でした。留学中に就職活動をしようと考えている人は、覚悟が必要だと思います（笑）

大変なことはもちろんありましたが、その何倍もたくさんの得たものや楽しかった思い出があるので、留学するか迷っている人は挑戦してみるべきだと思います！

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

アメリカの人はフレンドリーな人が多く、学校内を歩いていると知らない人でも挨拶をしてくれることに初めは驚きました。また、人を助ける文化が日本よりもあるので、困っている人を見つけると皆すぐに声をかけるのも素敵な文化だと思います。日本人の感覚なら申し訳なく感じるような無理なお願いでも、喜んで受け入れる人が多くとても救われていました。

食べ物に関しては、日本人よりも食べ物を捨てることに抵抗がない人が多く、学校内の食堂で得た食べ物をほとんど食わずに捨てている様子に驚きました。また、お風呂も毎日入らない人が多く、髪型によっては髪型を変えるまでの数か月1度も髪を洗わない人もいました。また数年前まで女子大だった影響があるのか、LGBTQを含む性的マイノリティに属している人が他大学よりも非常に多かったです。（体感だとだいたい7割ほどの人）初めは驚きましたが、新しい価値観や考え方を知る良い環境でした。また、就職活動の姿勢が日本の学生とかなり違ったことも印象的でした。アメリカの学生は大学卒業後に就職活動を始める人も多く、日本の学生よりも就職活動に関して気楽に捉えている印象でした。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点→小さな大学なので同女に似ていて安心感があり、多くの人と顔見知りになれ

る。先生も学生も、親切な人が多い。基本的に清潔感のある建物で、食堂の食べ物がおいしい。自然が豊か。学校の周りの小さな街は、おしゃれな雑貨屋やおいしいレストランがあり、とても治安が良い。

悪かった点→田舎なので、車を持っていないと移動が不便。寮生活の一択で、ホームステイを経験することができない。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは持参しました。学校のパソコンも使えますが、基本的に課題等は全て自分のパソコンでしていたため必須アイテムだと思います。基本的な薬類は一式持って行きました。また、私は皮膚が弱いので渡航前に皮膚科に行って念のために様々な種類の薬を大量にもらってから出発しました。スキンケア用品や化粧品等、直接肌に触れるものは持参しました。生理用品も9か月分まとめて持って行きましたが、現地のもので問題なく使えそうだったので、神経質でない方は大量に持っていく必要はないと思います。また、短期間の旅行でスーツケースを持ち歩くのは大変なので、ボストンバッグを持って行っていたのがとても重宝しました。ケータイのSIMカードは、アメリカで使えるイエローモバイルという種類のを日本で買っておいて空港で差し替えました。インスタントの味噌汁等の日本食も少し持って行きました。また、定期的に日本から日本食を送ってもらっていて、日本食に興味のある学生にあげると喜んでもらえたのでおすすめです。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

渡航前に比べると、4技能の全てにおいて成長したと感じます。私は秋春学期共に同じ先生の授業を受講していたのですが、はじめは話の話題を理解するので精一杯だったこともあったのに対して、帰国前はだいたいの内容を聞き取れるほどにはリスニング力が伸びました。しかし、リーディングやスピーキングはどれだけ自分が積極的に行うかによって伸び率が変わると感じます。

留学を経て最も大きく変わった点は、様々な価値観に触れることでいかに自分が狭い価値観の中で生きていたかを理解できたことです。多様性を知ること、自分のことを見直す良いきっかけとなり以前よりも縛られない考え方ができるようになったと感じます。また、そのように変わった自分に気づき自信を得たことも大きな変化です。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学中はもちろん辛いこともあります。それよりもはるかに上回る楽しくて充実した体験ができます！周りの人に助けをもらいながら、自分のペースで頑張ってください！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

一般企業に就職します。就活の軸として英語を業務内で使える企業を選んでおり、英語を使

って様々な人と関わりながら仕事をするのが目標です！

V. 写真



学校主催のプログラムがあり、ドレスを着て参加しました。



仲良くしてくれていた留学生やアメリカ人の友達と、学校内でピクニックをしたときの写真です。



冬はみんなでアイススケートに行きました。



よく友人と近所のレストランに行って食事をしていました。



メイタームに受講していたスパニッシュのクラスでは、頻繁にフィールドトリップに行きました。

K. N. 社会システム学科・2 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

留学を目指したきっかけのひとつとして、小さい頃から漠然としたアメリカでの生活に対する興味や関心がありました。『世界の中心であるアメリカで生活＝偉大！カッコいい！』という単純な理由からですが（笑）また、「留学を通して様々な経験を積みたい！視野を広げたい！高い語学力を身に着けたい！」と思ったことも理由に挙げられます。ただ、何よりも留学を志した最大のきっかけとしては、大学受験で感じた後悔と悔しさにありました。第一志望に合格できなかつた悔しさや努力を怠った後悔をそのままにしたくないという思いから、苦手科目であった英語を学ぶことを決め、大学入学後、英会話に取り組みました。この取り組みから海外の人との会話の楽しさを知り、留学をしたいという新たな選択肢（目標）が生まれたという経緯です。協定留学を目指した理由に関しては、「留学先大学の授業料が免除される」「休学せずに留学が可能」という点が就活面・金銭面からとても魅力的であると感じたからです。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

コロナ禍で大学 1 年次春学期の授業が全てオンラインになった事をうけ、空いた時間で何かできないかと思い、オンライン英会話（DMM 英会話）を始めました。その時点では「留学」のことは一切頭にありませんでした。※4 月から 7 月の約 3 カ月半 英会話を始めて 3 カ月が過ぎた頃、母が「せっかく英会話してるんだから、留学について国際課へ電話してみたら??」と何気ない一言を私にかけてくれました。それが留学へのスタートでした。私は母の一言で国際課へ電話をし、国際課の方から詳細な説明（留学に必要な要件、費用など）をしていただき、留学をするためのビジョンが明確になりました。※7 月の下旬頃 国際課の方の説明から IELTS で overall5.5 以上の取得が必要であることを知り、フィリピンの学校が実施する IELTS に特化したオンラインプログラムで 1 カ月間、IELTS の基礎を学びました。費用は週 4 日・各日 5 コマでひと月約 7 万～8 万円でした。一コマ（1 時間）1000 円ぐらいですね。※8 月中の 1 カ月間（※私は社会システム学科だったので、英文学科のように TOEIC や IELTS に特化した授業はありませんでした。そのため外部のプログラムを利用しました）そして、受講を終えた 1 カ月後に受けた IELTS テストで無事目標スコアを取得することができました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

2021 年度の場合、留学決定から出発までの準備期間が 2 カ月ほどと例年に比べ短かったので、とても大変でした。留学に必要な書類は何種類もあり、そのほとんどが自分だけでは用意することができず両親に手続きを依頼（銀行・残高証明書や市役所・戸籍書類）する必要が

あるので、書類提出に関する情報を得たら、すぐ両親にするべきことを伝えていました。ワクチン接種に関しては3月と4月の2回に分けて計11本のワクチンを打ちました。全てのワクチン接種完了後、抗体ができるまでに最低でも3カ月はかかるので計画的に行う必要がありました。ビザの手続きは想像以上に時間がかかります。公式のサイトにビザを取得するための様々な情報を入力する必要があるのですが、質問数が多い上に、どう答えるべきか曖昧な質問もいくつかあるので、一人で行うと相当時間がかかります。留学生同士で確認しながら行うことをおすすめします。まとめとして、留学決定から出発までの準備はとても時間がかかるので、悠長にしている余裕はないです。計画的に準備を進めてください。

④ 現地到着後

MBU までは伊丹→成田→アトランタ →シャーロットビルの計2回のトランジットがありました。夜10時ごろにシャーロットビル空港に着いたので、空港の近くのホテルで一泊し、次の日の朝 MBU の先生に迎えに来ていただきました。最寄りの空港から大学まで車で1時間ほどの距離があるので、事前に MBU の関係者に「迎えにきて欲しい」という主旨のメールをしておくとも良いかもしれません。

⑤ 語学研修期間

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

教室はどれも綺麗です。また、キャンパス内（駐車場と体育館までの道を除く）は基本 Wi-Fi が通っているので、私の場合、旅行に行く時のみ携帯プランに入り、普段は大学の W-Fi のみで生活をしていました。図書館は土曜日以外、夜12時まで開いていたので基本図書館で課題や勉強をしていました。勉強しやすい環境が整っていると思います。体育館には学生なら誰でも自由に使えるジムがあり、運動不足を解消できます。

◆ 履修科目

※ I-20 のビザの規則により、1学期12クレジット以上取得する必要がある。

<Fall Semester>

• THEA111 VOICE, DICTION, AND ORAL READING

この授業では毎週、絵本やニュース記事、映画の台本の一部を、1人ずつ朗読するというものでした。英語力に自信のない私にとって毎度の授業は緊張の連続でしたが、担当の先生が手厚くサポートしていただきました。先生が生徒一人一人に丁寧なフィードバックをしてくださるので発音やトーン・間の取り方と、本当に沢山のことを学ばせていただきました。そして何より、人前で英語を話す度胸がつけました。

• COMM100 PUBLIC SPEAKING (COMM100 LAB FOR COMM 100)

この授業ではプレゼンの基礎から応用まで幅広く学びます。”どのようにすれば効果的かつ

魅力的なプレゼンになるのか??”聞き手がわかりやすいスライドはどういうものか??”などプレゼンテーションを行う上で重要となるポイントを押さえます。そして、その知識を踏まえた上で1分ほどのPreプレゼン約4.5回と5分~8分程度の本プレゼン3回を一人で行いました。（※プレゼンに加え、オンラインテスト計3回実施）この授業を履修したことで、プレゼン能力が向上しただけでなく、プレゼンをする事がより好きになりました。

• COMM245 SOCIAL MEDIA

ビジネスの成功においてSNSを通じたプロモーションは必要不可欠です。この授業では、そういったプロモーションをどのようにすればいいのかについて学びます。受講期間中、計3回のプレゼンテーションに、二度のSocial media issuesに関するレポート、そしてアメリカで有名なTed Talk（特定のトピックについて自分の経験談をもとにスピーチする）をするという課題がありました。また、Final assignment (report)では、実際に存在する企業を1つピックアップし、その企業が抱える課題についてSNSを通じたプロモーションにより、どう解決するかという提案書を作りました。この課題は実践的なもので、より理解を深める事ができました。

• BUAD220 MANAGEMENT PRINCIPLES

この授業では、”組織（主に会社）は何を基準に動き、どのように管理されているか”について学びました。授業のスタイルとして、教科書の内容はあらかじめ予習し、予習で得た知識を踏まえ、授業でのグループ・クラスディスカッションを通じてさらにその知識を深めていきました。課題に関しては毎週のテストに加え、4回程のレポート（1000words以上）、2回のプレゼンテーション、Final Paper(約1700words), Final Exam ととても大変でしたがそれ以上の事を学ぶ事ができました。全受講科目の中で1、2を争うほどお勧めの科目です。

• BUAD338 AUDIENCE INSIGHTS AND ANALYSIS

この授業ではマーケティングについて学びました。基礎に加え、その知識を現実ではどう活かすかについても学ぶことができたので、生きた知識を得る事ができました。実際に、自分が選んだ非営利団体（私の場合、医療系ボランティア団体）の問題提起からアンケート実施、分析、レポート（報告）までの一連を行い、マーケティングがどういうものであるかについて、経験を通して学ぶ事ができました。一度だけ全て記述解答の試験があり、試験勉強が少し大変でしたが、その分確かな理解を得る事ができました。

• MBU101 PLANNING YOUR MBU DEGREE

1回生受講必須のクラスです。自分自身の強みや弱み・興味などをもとに、将来のキャリアについて考えるというものでした。

• PHE150 Performance Dance Group

週1のダンスだけでは物足りなかったので履修しました。様々なジャンル（ブロードウェイ

ジャズ、ガールズ、ストーリージャズ) のダンスを学ぶ事が出来てとても楽しく受講できました。また、このクラスに参加している学生も皆レベルが高く大きな刺激を受けました。

・ **PHE152 Hip Hop Dance**

小さい頃からダンスを習っていたので、息抜きとして受講しました。同じヒップホップでも、日本とは少し異なるアメリカのヒップホップは、新鮮でとても楽しかったです。授業内容としては、先生から与えられるフリースタイルを踊るだけでなく、いくつかのグループとなって学生達自身で、フリースタイル作りにも挑戦しました。また、秋学期終盤にはダンスフェスティバルが開かれ、習ったダンスを大勢の人の前で披露しました。ソロで踊る機会をいただき、多くの友達から声援やお褒めの言葉をいただけてとても嬉しかったです！

<Spring Semester>

・ **PSYC101 PSYCHOLOGY AS A NATURAL SCIENCE**

心理学とあり「消費者心理」などを学ぶ事ができると思い履修しましたが、想像とは全く異なり人間の生来備わっている「心理学」について学びました。この授業ではとにかく覚えなければならない知識量が相当ありました。授業毎に、その日の授業内容が定着しているかどうか測るテストがあります（※問題数が少ない上、資料を見ながら解答可能なので、負担ではありません。）また、計4回の試験があります。これらのテストに関して、現地の学生は対面で受けますが、留学生は心理学で扱われる専門用語の知識が十分でないという事で、オンラインで受ける事ができました。

・ **COMM260 PUBLIC RELATIONS**

この授業では「PR とは何か」「どのように PR を効果的に行うか」について学びました。もともと、プロモーションや PR といった分野に興味があったのでとても楽しく授業を受ける事ができました。課題に関しては計4回の対面形式による試験、プレゼンテーション、計4回のレポート、そして毎週自身の意見をシェアするディスカッション課題（500words 程を投稿）がありました。

・ **BUAD104 SUSTAINABILITY AND BUSINESS**

その名の通り、ビジネス×持続可能性について学びました。この授業のスタイルは、教科書の内容はあらかじめ予習し、予習で得た知識を踏まえ、授業でのグループ・クラスディスカッションを通じてさらにその知識を深めていくという形態です。そしてなりより、課題量が相当あります。毎週、授業で習ったトピックに関するクイズ、ディスカッション(500words を投稿)を行い、そのトピックに関する記事を要約し、その上どの部分がどのようにそのトピックに関係しているかを Word 約 2 枚分にまとめて、提出していました。それに加え、計3回のレポート課題とプレゼンテーションがありました。正直、あまりの課題の多さに、最初は嫌気が差していましたが、課題をこなしていくうちに次第に慣れていきました。今までの思考になかったビジネスにおける「持続可能性」という側面を深く学ぶ事ができ、受講し

て本当に良かったです。

• **COMM304 MANAGING ORGANIZATION CHANGE**

この授業では、秋学期で履修した BUAD220 MANAGEMENT PRINCIPLES の知識をもとにより深い仕組みまで学びました。正直、ここで扱われる教科書はとても専門的なものであったため、授業についていくのにとっても苦労しました。しかしながら、担当の先生がとてもユニークで楽しんで授業を受ける事ができました。留学生という事で多くの先生に配慮していただく（授業中は当てられない・急に意見を求めない）中で、この先生は現地の学生と同様に接して下さったのである意味相当なスキルがつかえました。このクラスは毎週のクイズ（1 時間半程）に加え、計 7 回のプレゼンテーションと計 2 回のレポートがありました。プレゼンテーションに関しては、授業中突然、「残り 20 分で用意してプレゼンしてー！」と言われる事もあり、無我夢中でプレゼン材料を用意し行っていました（笑）

• **BUAD362 BUYER BEHAVIOR**

この授業では消費者心理・購買行動について学びました。“なぜ消費者はこの商品を買ってしまうのか”、“何を基準に商品の優劣をつけているか”など、普段私たちが無意識に行なっている購買行動を徹底的に分析しました。春学期終盤には、実際に使用されている購買行動促進戦略（トリック）を学生が個々にリサーチし、具体例とともに 10 分間のプレゼンテーションを通じて紹介しました。授業の理解度を測るために、2 回ほどの記述式テストも実施されました。

• **PHE152 Hip Hop Dance**

秋学期に同じ科目を既に履修していたので、単位は出ない事は承知の上で再び履修しました。とにかくダンスが好きなので（笑）秋学期とはまた異なる振付を学ぶ事ができて違った楽しさがありました。授業最終日に、自ら用意した choreography を全員の前でパフォーマンスする試験があります。（※ダンスの授業に関しては、時期によって先生が異なる為、それに伴い試験内容も変わります。）秋学期同様、春学期終盤に、ダンスフェスティバルが開催されました。今回は現地の友達とチームを組み、パフォーマンスするという貴重な機会をいただき、一生の思い出を作る事ができました。

• **PHE157 JAZZ TECHNIQUE**

日本で少しジャズを習っていたので履修しましたが、難易度が桁違いに高くて驚きました。想像していたジャズとは全く異なるもので、未経験者の私にとってかなりハードなものでした。しかし、レベルの高い学生とのレッスンは刺激的であり楽しかったです。授業最終日に、自ら用意した choreography を全員の前でパフォーマンスする試験があります。（※ダンスの授業に関しては、時期によって先生が異なる為、それに伴い試験内容も変わります。）秋学期同様、春学期終盤に、ダンスフェスティバルが開催されました。

• **PHE179 HORSEBACK RIDING**

この授業では乗馬体験ができます。

日本ではなかなか馬に乗る機会が無いと思うので、「経験」という意味でもぜひ履修をおすすめします。ただし、\$250 の受講費がかかります。

<May Term>

・ FILM229 ADVANCED VIDEO PRODUCTION

旅行動画や思い出ムービーなど、動画作りが趣味であったので受講しました。しかしながら私の想像をはるかに超え、カメラや照明、マイクなどの専門器具に加え、台本が用意されるなど桁違いに本格的で驚きつつも興奮していました！ 実際に近くのダウントウンで人気のあるピザ屋さんで撮影を行い、普段自分が見ているドラマや映画がどのように作られているのか直に体験する中で学ぶ事ができました。この授業では台本作りから撮影、そして動画編集まで学生が行います。

◆ 授業、レポート、定期試験

授業形態に関しては、ディスカッション・プレゼンテーションの機会が桁違いに多いです。度々、個々の意見を求められるにも関わらず、アメリカの学生は皆、理由と共に自身の意見をきちんと述べていて刺激を受けました。授業で使われる教科書は日本に比べてとても高く、1 冊 1 万円以上するものもあります。そのため、一部の教科書は Amazon でレンタルし、経費を抑えていました。レポート（課題）に関しては、日本に比べて量は多いですが、思いのほかなんとかなります。現地の学生も助けてくれるので、心配はないと思います。試験に関しては、覚える事が多く大変な科目もありますが、試験前には先生や現地の友達に分からない点は聞くなどして対策を取っていました。また、クラスによっては電子辞書の使用が許可される他、別室受験も可能な場合もあります。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

COSMOS と呼ばれる国際交流クラブのイベントに定期的に参加することはありましたが所属はしていませんでした。異国や異文化に興味のある学生が所属しているので、仲良くなりやすいです！ 実際、私も COSMOS を通じて多くの友達ができました！

⑧ 現地での住まい

私は PEG と呼ばれるセキュリティ性の高い寮に現地のアメリカ人生徒と二人で住んでいました。基本的に PEG ドームは高校を飛び級した 20 歳以下の生徒達が住む寮なので、夜 11 時以降になると外出できなくなりますが、留学生が住む 4 階のみ、24 時間出入り可能でした。食事に関しては、大学内に大きなダイニングホールがあり、朝昼晩の 3 食をそこで食べることができます。内容としては、寿司や中華、カレーなど日本に馴染みのあるメニューがあるので、想像よりは日本食が恋しくなりません。渡航前に留学生全員、ミールプランに入るとお思いますので食事に関しては心配ないと思います。また寮にキッチンもあ

るので、自分で料理することもできます。課題が遅くまで長引いた時、よく夜食を食べていました（笑）

⑨ 長期休暇の過ごし方

休暇中はアメリカ国内を旅行していました。Fall Break では、日本の留学生と New York を旅行しました。ここでは、念願のブロードウェイミュージカル「ライオンキング」を鑑賞しました。Thanksgiving Day では私の Conversation Partner であった友達の実家にお邪魔させていただきました。家の中に沢山の家族写真が飾られており、家族愛をとて実感しました。Winter Break では日本の留学生と Los Angeles (Disney Adventure や Griffith observatory)、アメリカの友達と Florida (Disney world)、そして一人で Las Vegas (Grand Canyon) を旅行しました。特に Las Vegas はスケールが桁違いでずっと興奮するほど素敵な街でした。機会があれば是非行っていただきたいです！！Spring Break では台湾からの留学生と一緒に Chicago と Boston を旅行しました。ご当地グルメを満喫しました(^^)帰国前は Niagara Falls を観光しました。

日本人留学生との旅行はもちろん楽しいですが、英語力を鍛えるという意味ではアメリカ人の友達と旅行をする機会を設けてみるのもいいと思います。実際私も、彼らとの旅行を通して英語力の向上を実感しました。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

留学中は特に何もしていませんでした。ただ、就活の面接で自らの経験を説明できるよう、留学で感じたこと・気づいたことなどはその都度メモに記録していました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

友人と過ごした日々です。アメリカ人（留学生 from Taiwan and India）は皆、個性的で明るく思いやりに溢れています。そんな彼らから溢れ出るほどの愛をもらい、彼らと過ごす時間は笑いで一杯でした。彼らと恋バナをしたり、馬鹿なことをする度に距離が縮まっていく感じがとても嬉しかったです。そして何より、彼らは何度も「私の良い部分（特技・性格）」を褒めてくれました。それは私にとって、頑張る原動力にも、自分自身をもっと好きになるきっかけにもなりました。彼らからもらった温かい言葉はずっと大事にしていきたいです。しばらくの間、会えなくなりますが、築いた関係はこれからもずっと続くだろうと確信しています。というのも、様々な思い出を通じてそれほどの関係性を築けたという自信があるからです。これに関しては、長期留学であるからこそ成し得た事だと思います。留学期間で、大好きな友人に沢山出会えた事こそ、私にとって留学で得た最も大きな財産です。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

苦労した事の一つとして、日本人留学生との適切な距離の取り方が挙げられます。母国語に

おける居心地の良さから、多くの時間を日本人と過ごしてしまう事が度々ありました。日本人留学生との時間は異国の地での生活において息抜きとはなりますが、その回数・時間は適度にするべきです。というのも、せっかく留学に来ているのに日本人と話してしまっている、語学力の向上を期待できないからです。

また、「英語使用に徹すること」にも苦戦しました。というのは、現地の人とのコミュニケーションに関しては、たとえ英語力が不十分でも、ジェスチャーや接し方の工夫でどうにでもなります（笑）。言い換えれば、自分が既に持っているコミュニケーションスキルで授業に関する質問もできる上、友達も沢山作れてしまいます。私は、自らが持つコミュニケーションスキルに甘えすぎたせいで、英語力を上げなければ！という意識が薄れてしまいました。もちろん、英語力不足をコミュニケーション能力で補おうとすることも大事なことは承知の上ですが、それに頼り切ってしまう自分がいたので、英語を学びにきているという点から、葛藤がありました。

一方で、多くの皆さんが不安に思う英語の壁（授業が理解できない、全く話せないなど）に関してですが、私の場合、英語力に関する悩みはほとんどありませんでした。というのも、私自身、英語の壁に苦勞することは初めから想像していたので、留学前に3つの心構え（① **In the middle of the difficulty lies opportunity** 意識：困難な時こそ成長している証だ ◎ **Without haste, but without rest** 焦らず、だが休まず ◎ **Appreciation** 感謝）を決め、英語でつまづく事はあって当たり前というスタンスで留学生活送ったからです。この心持ちにより、大きな壁に直面しても激しく落ち込んだり、焦ったりすることはありませんでした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

私の性格や振る舞いがアメリカ人的な事もあり、文化・習慣の違いなどで新たに学ぶことはあっても、驚くことはありませんでした。留学を通して、日本人にはないアメリカ人の素敵な部分（違い）をいくつか見つけたので紹介します。まず、アメリカ人はとても親切でした。私の周りの友達には常に「困っていることはない？」と私を気遣ってくれました。先生の話す英語が聞き取れないと友達に相談した際は、わざわざ授業を録音し、それを文字起こししてくれました。日本に「おもてなし」という言葉がありますが、それは「気遣い」という感じで、アメリカの「おもてなし」は「思いやり、人助け」という感じでした。どちらの「おもてなし」も素敵ですが、私はアメリカの「おもてなし」がより素敵であると感じました。また、アメリカ人は自分自身の人生を生きています。それは、他人の目を必要以上に気にしていないということです。自分を含め、日本人の多くは他人の目を気にしてしまい、自分のしたい事ができない時があるように感じるので、アメリカのそのような文化は素敵だなと感じました。そして最後に、アメリカ人は人の良いところを見つけることに長けています。そして、それを積極的に言葉にして伝える文化です。留学中、友達であるかないかに関わらず、様々な場面で、本当に多くの方から温かい言葉をいただきました。日本人もちろん、お互

いの良いところを褒め合いますが、その回数が全然違います。彼らと出会ったことで、自分も他人の良いところを沢山見つけて、それをきちんと伝えることのできる人でありたいと思わせてくれました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

MBU の良かった点としてはサポートが手厚いところです。学校案内（オリエンテーション）から履修登録、普段の生活までしっかりサポートしていただきました。また、先生だけでなく学生達もとても親切で、英語を学ぶ環境にとっても適していたと思います。実際、この環境下のお陰で、留学生が抱えるであろう悩みや不安を最小にできたと感じています。また、治安も良く、安心して生活できると思います。一方で、大学がある場所は田舎なので、遊ぶ場所が少なく、土日（課題がない時）は暇な時もありました。旅行好きの私にとっては少し残念でした。また、旅行で飛行機を利用する際、MBU から最寄りのシャーロットビル空港まで車で 1 時間ほどかかるので、毎度アメリカの友達に往復 60 ドル（7200 円ぐらい）を支払い、送迎をお願いしていました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。ほとんど全ての課題はパソコンで行いました。SIM カードに関しては、日本の「イエローモバイル」というサイトで事前に購入することをお勧めします。というのも、私は現地で SIM カードを買ったのですが、ひと月の支払額は「イエローモバイル」が提供するものより高いにも関わらずプラン内容は乏しかったからです。また、風邪をひいたとき用の薬も日本から持っていくべきだと思います。加えて、外用の靴とは別に、部屋・お風呂用にクロックスのような、濡れても良いスリッパを持っていくこともお勧めします。日本食はお好みで。一方、服や日用品に関しては余程のこだわりがない限り現地で調達しても良いと思います。シャンプーやボディーソープに関しては Dove や Pantene など日本人に馴染みのあるものもアメリカで売られているので、わざわざ日本から持っていく必要はないと思います。服に関しても、キャンパスから 15 分ほど歩いた所に古着屋さんがあり、日本人好みの服も \$3 から売られているので問題ないです。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力に関してはリスニング力が格段に向上したと思います。留学当初、アトランタでトランジットした際、空港にあったファストフードでお昼ご飯を注文しましたが、店員さんの話す英語がわからないどころか、注文の仕方すら知らず「This! This!」のみで注文を行いました。このようや状況なので、何かわからないものをトッピングで追加注文してしまい、想像より \$5 ほど高くなった上、店員を困惑させてしまい、英語力のなさを痛感しました。しかし、約 9 か月の留学生生活を終え日本に帰国する際、最初のフライトが 4 時間ほど遅延し、

日本便に乗る事ができず、次の日の便に振替になりました。そのため、カウンターの方に事情を全て話し、航空便の変更手続きから宿泊ホテルの依頼を一人で行いました。不自由なく問題を対処できるようになった自分に驚くと共に、嬉しさを感じました。また、帰国後日本での生活を再開して、今までとは異なる日本を見るようになり、見る視点が変わったと実感しています。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学に少しでも興味があるなら、今すぐ留学するための行動を起こしてください。私自身、もともと英語が得意であったわけではありません(高校のクラスの中ではワースト7を取るほどの成績です)。それでも、私が留学できた要因は「私なんて留学は無理」と自分自身で可能性を潰す事なく、挑戦したことにあると思います。結局、留学をしたいと思っている学生が私より英語ができていたとしても、留学するための行動を起こさない限り、留学はできません。2年前に起こした少しの勇気(行動)が想像をはるかに超える素晴らしい経験をいくつも導きました。この経験から感じる私の意見として、現時点の英語力など関係ないです。挑戦・行動することができるかが重要なポイントです。自分の実力(英語力・人間力)を最大限またはそれ以上に生かしたいのなら、まずは行動するところから始めてください。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私はマーケティングや企画・経営戦略分野に興味があるのでそういった職に就きたいと考えています。培った語学力だけでなく、留学を通じて得た新しい視点を大事にしながら次のステップへ進んで行ければと思います。

V. 写真



留学最後の思い出作りとして、日本人留学生と水遊びをした時の写真です。私はここから見る景色がとても好きでした。特に夕方は、夕日が差し込み、より風情のある景色となります。この写真からも伝わるように、MBUならではのアットホームな感じが日本人の性格に合っていたと思います。



これは、ダンス発表会の様子です。パフォーマンス中、音が聞こえなくなるほどの声援をかけていただき、幸せな空間を過ごさせていただきました。また、最前列の一番左にいる彼女とは、チームとして踊らせていただき、一生の思い出を作ることができました。ダンスを通じて多くの友達と出会えたことに、感謝しかありません。



彼女は仲の良かった友人の一人です。彼女とはとても気が合い、沢山の思い出を作りました。

彼女と私はとにかく楽しいことが大好きで、いつもふざけては爆笑する日々でした。彼女のような素敵な人になりたい！そう思わせてくれる人でした。I will definitely see you again!!



彼女は私の conversation partner でした。この写真は帰国前の空港で撮った写真です。彼女は誰よりも優しく気遣いのある人でした。声と見た目は可愛いのに行動が面白く、いつも私を笑わせてくれました。多くの時間を過ごしてきた分、彼女とのお別れはとても辛かったです。ですが、また会えると信じています。



この写真はみんなで集まれる最後の日に撮った写真です。写真から伝わるように、皆いい表情をしています。彼らは、愛情にとっても溢れていて、本当の家族のようでした。この日も、お別れが寂しく思わず泣いてしまうほど、みんなの人柄が本当に大好きでした。彼らとの出会いはかけがえのない財産となりました。I love you guys!!

K. R. 英語英文学科・2年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

小さいころから英語を話せる人に憧れていました。高校生の際にキャリア教育の一環で国連にいる自分と同じ県出身の方の講演を聞ける機会があり、その方が世界を飛び回って仕事をしていて、それがカッコいいなと思い、ふわふわと留学したいなあくらいの気持ちはそのときから思っていました。コロナ禍で留学に希望が持てず、前年度も中止になっていたことから諦めモードに入っていました。友達と一緒に留学に行ける可能性にかけて勉強したのは今でもいい思い出です。高校の先輩から大学生は行動したものの勝ちだよと言われていたので、どんな状況でも、IELTSを受けて留学の応募をしたのはよかったかなと思います。友達が校内基準をクリアしたときは一緒になって喜びました。また将来も英語を使う職業に就きたかったことから、異文化理解のためにも留学は必須だと考えていました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

当時は TOEFL と IELTS があったのですが、国際課の方からの勧めもあり IELTS を受験しました。受けるテスト方式を決めてからは、問題集を1冊に絞りそれを3回ほど回していたと思います。全部で2回テストを受けました。1回目は5.0で校内基準をクリアできなかったため、2回目のテストを受けるまではケンブリッジ大学（だった気がします）が出している IELTS の問題集を買い、それを何回かこなしました。2回目のテスト結果はクリスマス当日で5.5だったので、クリスマスプレゼントみたいな感じで嬉しくなりました(笑)。IELTS の参考書や問題集は高いので、友達とシェアしたり、ネットで探してみたりすることもおすすめです。IELTS 専用の単語帳も買いましたが、結局は問題集ですべて補うことができたため、あまり使いませんでした。参考書や問題集で出たわからない単語を覚えるのみで大丈夫だと思います。

③ 留学決定から出発までの準備期間

留学できることが1カ月ほど前に決まったので（コロナのため）、留学のための語学勉強というよりは学校の課題や TOEIC などの勉強をしていました。また、私はパスポートの期限が切れそうだったので、パスポートの更新にも行きました。2週間程かかったと思います。ビザの申請手続きはすごく時間がかかったし、面倒くさかったです(笑)。友達と協力しながらやっていました。値段は高いですが、時間を節約したい人やスムーズに手続きを行いたい人には、ビザ代行サービスもいいのかなと思います。

④ 現地到着後

近くにある空港が大学の寮と離れていたため、現地到着後は空港の近くのホテルで一泊しました。その後は大学のアドバイザーの方がホテルまで迎えに来て、大学まで連れて行って

くれました。大学については、いろいろな人が学校の案内をしてくれました。

⑤ 語学研修期間

語学研修はありませんでした。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

私の大学は田舎にあったので空気がとても綺麗なところでした。たまに流れ星も見えました。施設内も綺麗でした。特に困ることはなかったと思います。

◆ 履修科目

・ AS106 ISSUES IN ASIA

留学生のアドバイザーをされている方の授業だったので取りました。秋学期の中では、この授業が一番課題の量が多かったイメージです。2週間に1回ほど3枚くらいのレポート課題がありました。その他にも小テストが定期的に行われました。アジアの歴史を学ぶので、中学校や高校などで学習したことをもう一度習うというような感じでした。

・ COMM100 PUBLIC SPEAKING

大きなプレゼンテーションが全部で4回ほどあったと思います。留学生が日本人しかいなかったため、留学生向けの授業がありませんでした。そのため、この授業は必須でした。プレゼンテーションのいい練習になりました。

・ COMM100L LAB FOR COMM

この授業はCOMM100をとるとプラスでついてくる授業でした。先生も優しくクラスの雰囲気も明るくて楽しい授業でした。

・ MBU101 PLANNING YOUR MBU DEGREE

MBUでの生活をどう充実させるかというような授業でした。特に発言する機会などはなく、受け身型の授業でした。ウサギが授業に来たことがありとても可愛かったです。

・ SOC112 SOCIAL PROBLEMS

社会学の授業でした。最初は何言っているかさっぱりわからなかったです(笑)。でも先生が優しく、授業後に質問をしにいたり、クラスの子にきいたりして、何とかついていってました。

・ SOWK265 MINDFULNESS SELF-COMPASSION

先生が本当に優しくかったです。マインドフルネスの授業なので、瞑想もしました。慣れない生活に疲れている時でも、リラックスできた授業でした。おすすめです。

・ BUAD104 SUSTAINABILITY AND BUSINESS

サステナビリティビジネスの授業でした。この授業が一番大変でしたが、一番取ってよかった授業でした。文学部なので、ビジネス用語が使われていても、全く理解できなかったのですが、この授業では先生がランダムに人を指して答えなければいけない場面がたくさん

あったので、必死に予習しました。でもサステナビリティについてのある程度の基礎知識を身に付けられたので本当にとって良かったです。先生が韓国の方なので、アメリカで同じアジアの方が活躍しているということも、私にとっては刺激的でした。

・ BUAD230 MARKETING PRINCIPLES

マーケティングの授業でした。1 回だけ大きなプレゼンテーションがありました。緊張したので、本番前にアドバイザーの方や友達、クラスの教授に自分のプレゼンを聞いてもらいました。マーケティングの基礎を知れたので、楽しかったし、取ってよかったなと思います。

・ ED205 CHARACTERISTIC OF EXCEPT

障がいを抱えている学生に対しての授業の仕方などを学びました。少人数のクラスでした。先生が女子サッカーチームの顧問で、すごく活発的な方でした。すごく楽しかったです。

・ ENG204 CHILDREN'S/YOUNG ADULT LITERATURE

同女での単位変換の関係で取りました。毎週違う本を読んでいたのが合計で 8 冊ほど教科書を買ったと思います。図書館から借りることもできます。プレゼンテーションを 1 回、4 人のグループでやりました。

・ SOC100 GENERAL SOCIOLOGY

社会学の授業でした。先生は SOC112 と同じ方です。社会学で使われる専門用語ばかりで、友達にたくさん助けてもらいました。宿題は少ないです。社会学の基礎を学ぶ感じでしたが、私にとっては難しかったです。

・ CJ 262 GIRL-CENTERED INITIATIVES

メイタームの時にこの授業をとりました。9 時から 5 時までの授業でしたが、授業期間が 1 週間のみでした。TED TALK で話した経験のある方がメインで授業をしていて、とても貴重な時間でした。

◆ 授業、レポート、定期試験

私は、ファイナルは全てレポートの提出で、対面でのテストはありませんでした。レポートを提出するのに十分な時間があるので定期試験に対する心配はあまりありませんでした。先生方もみんな優しくかったです。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

特に何もしていません。

⑧ 現地での住まい

現地では寮にアメリカ人のルームメイトと住んでいました。ホームステイを体験してみたかったのですが、コロナのため実施していませんでした。寮はキャンパス内にあるので、クラスにも行きやすかったです。

⑨ 長期休暇の過ごし方

長期休みの間は全て旅行に行っていました。秋休みは友達と合流してワシントン D.C に行

きました。冬休みは、ロサンゼルスやニューヨークに行きました。宿泊費などは友達と一緒に部屋を使って、なるべく節約できるようにしていました。どこも素晴らしかったですが、グランドキャニオンが私的に一番良かったです。バスの運転手の方が、「昨日落ちて亡くなった人いるからね。」と普通に言っていて、びっくりしました。柵などもほとんどなく、覗こうと思えばどこまででも覗けます。私は冬に行ったのですが、歩道が整備されていなく、雪が降ったあとで地面がつるつるだったので、結構危なかったです。普通の服装で行ったのですが、ハイキングしている人たちは、みなハイキング用の服装でした。もしハイキングするのであれば、靴もハイキング用を履くことをお勧めします。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

特にしていませんが、受ける企業は選定していました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

旅行もたくさんして楽しかったのですが、日常生活がやはり一番楽しかったです。こんなにも毎日が刺激的な9か月間は初めてでした。大学が田舎で空気がきれいな所だったので、最初はよく日向ぼっこをしました。夜は丘の上で友達と星を見ました。時々流れ星も見えました。「頑張れよーっ」って言われている気がして、頑張ろうって思っていました。単純です(笑)。友達が放課後にコーヒー飲もうってスタバに連れて行ってくれたり、アイス食べに行こうって誘ってくれたり、本当にただの大学生みたいなことを新しい友達といろいろな話をしながら過ごす時間が私にとっては一番幸せで、特別でした。あの頃は大変だと思っていた授業も、異文化適応能力を身に付けることも、今振り返ると、何かに向かって必死になっている自分とそれを一生懸命そばでサポートしてくれていた友達が思い浮かべて、微笑ましいです。自分もなにか伝えられることはないかと思い、日本人は感謝の気持ちを大切にしていることを伝えました。そしたら友達も「いただきます」や「ごちそうさま」を実践してくれて、とても嬉しかったです。何気ない日常が私にとって留学の一番の思い出でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

言語の壁には3回ほど挫けました。やっぱり、行った当時は何もわからなかったです(笑)。結構、自信を持って行ったのですが、考えが甘かったです。私たちの時は1カ月前までコロナで留学は出来ないことになっていたのですが、急遽行けることになりました。本当に感謝しています。だからこそ、いろいろ諦めなくなかったです。落ち込んだ日は音楽を聴いて、とことん落ち込んで、吹っ切ってまた頑張るようにしていました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

まず、アメリカ人はよく食事を残すことにとても驚きました。あとアメリカでは、公共トイ

レが少ないなと思いました。日本であれば、いろいろな箇所にトイレがありますが、アメリカの場合、お店の中に入ってもトイレがないことがよくあります。フロリダのディズニーに行ったときは、日本とのスケールの違いに驚きました。

Mary Baldwin University の学生は、ほぼ全員が寮で暮らしていることにも驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

とにかく、自然がきれいでした。学食もアジア料理やピザなど、種類が豊富でした。夏にはアイスもありました。大学内もきれいでした。また、一番良かったと思うのは、アドバイザーの方がとても優しくったところ。私自身も、クラスの授業のことやプレゼンテーションの練習などお世話になったことがたくさんありました。本当に有難かったです。悪かった点としては、ホームステイ制度を適用してほしかったなと思いました。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。あとは日本で使っている薬等も必須だと思います。アメリカについて2カ月ほどで、肌がすごく荒れてしまいました。アメリカでいいと言われている、石鹸やクリームを試しても駄目だったので、母に日本の薬を送ってもらいました。あとは電子辞書などもあるといいのかなと思います。おみそ汁などの日本食もいくつか持って行ってそれも役に立ちました。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は向上したと思います。特にスピーキング力は留学で一番使ったので、伸びが他よりも良かったです。TOEIC など自分の語学力が分かるものを留学前と後で受けることをお勧めします。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

留学は絶対にいい経験になると思います。大学生は行動したもん勝ちです。悔いのないように頑張ってください。応援しています！！

Ⅳ. 将来の目標

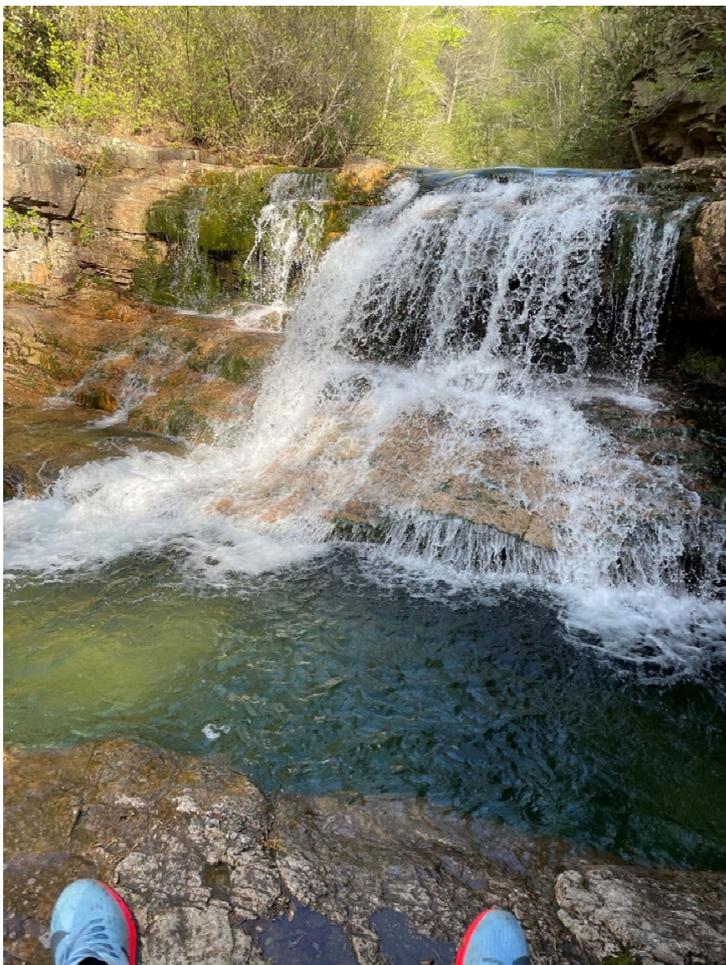
① 今後の進路、将来の目標・夢

英語が使えて、世界と繋がっていると感じられるような仕事に就きたいです。そのためにも、英語力の向上はまだまだ必須だと考えているので、これからも頑張ります。

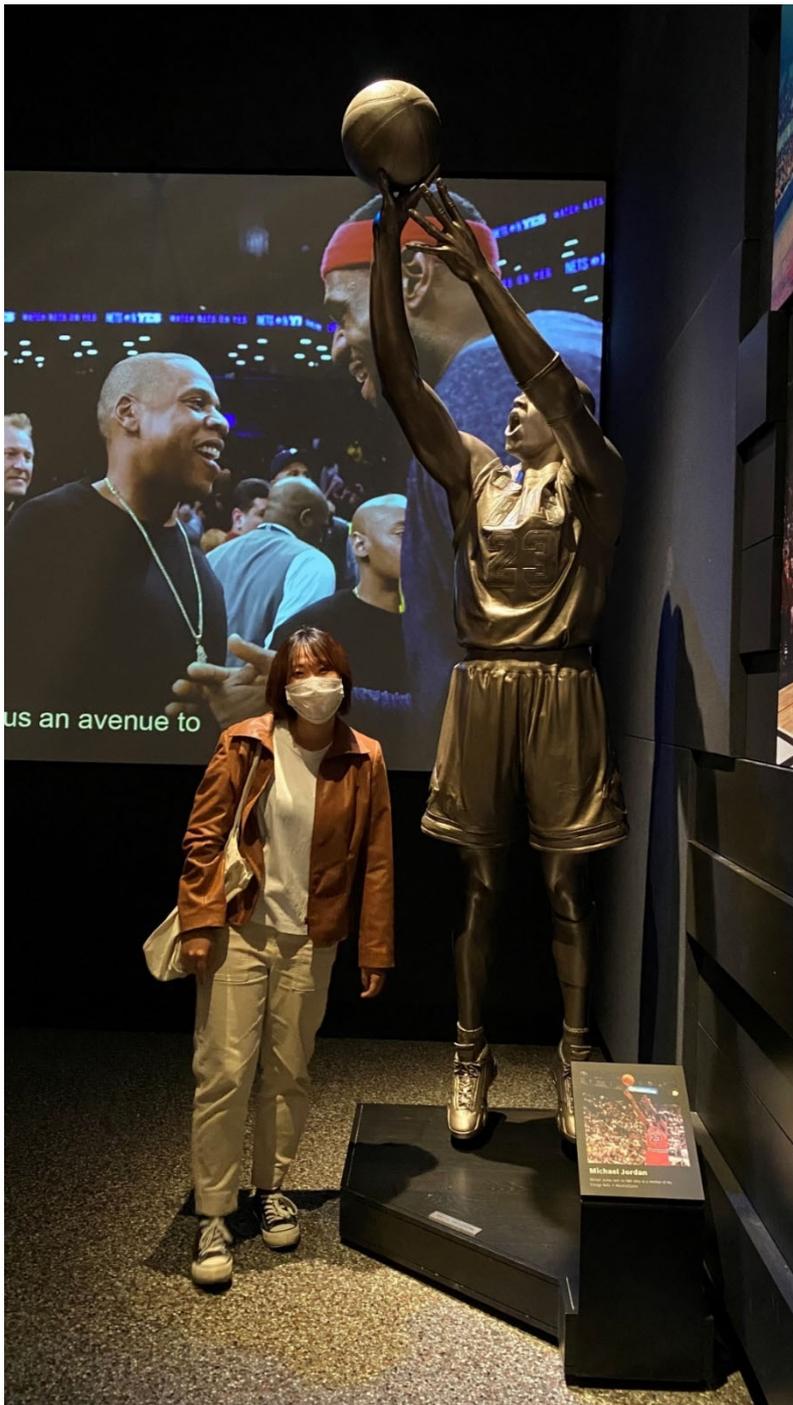
V. 写真



グランドキャニオンに行ったときの写真です。怖かったです。



車で 30 分程の、近くの滝に行った時のものです。



友達とワシントンD.C.の博物館に行ったときです。

W. C. 英語英文学科・2 年次

I. 留学レポート

① 協定留学を目指した理由

正直、「行けたらいいなあ」と思っていた程度で、あまり真剣に考えていませんでした。しかし、協定留学制度があると知り、せっかくならと思って目指そうと思いました。また、現地の授業を受けられることにも魅力を感じていました。

② 留学を目指してから出願までの語学学習方法

私は IELTS を受けました。特に Speaking に苦手意識があったのでシャドーイングをしたり、独り言を言ったり、練習をしていました。でもテストまであまり時間がなかったので、ほとんど勉強できずにテストを受けに行きました。

③ 留学決定から出発までの準備期間

新型コロナウイルスの影響で留学に行けると決まったのが、出発の約 2 か月弱前でした。とても急な決定だったので、ビザの申請の手続きも時間に余裕はありませんでした。また、注射も一気に 5 本打ちました。このように、私はすべてがかなりギリギリだったので、ビザも注射も早めにしておくことをお勧めします。特にビザ申請時の面接日はかなり予約が埋まっていたので、早めにしておくほうがいいと思います。また、クレジットカードは現地で必須なので、もし持っていなかったら、申請も早めにやっておくといいと思います。

④ 現地到着後

現地の空港に到着したのが 23 時前だったので、近くのホテルで一泊しました。空港からホテルまではシャトルバスで移動しました(空港到着時にホテルに電話して迎えにきてもらいました)。次の日の朝に事前に連絡していた大学スタッフの方に迎えにきてもらい、大学まで送ってもらいました。大学到着時には、アンバサダーの学生が待っていてくれました。

⑤ 語学研修期間

語学研修は受けていません。また、先輩方が受講させていた留学生必須授業も開講していなかったもので、初めから正規の授業を受けていました。

⑥ 正規科目履修期間

◆ 大学の施設・環境について

大学の施設はとてもきれいです。近くには図書館もあり、平日は夜遅くまで空いていたので勉強できました。ただ、体育館はかなり遠くにあるので、ダンスのクラスなどはいつも 10 分ほど歩いて行っていました。大学内は Wi-Fi があるのでネット環境には困らなかったです。

◆ 履修科目

秋学期

• **AS106A: Issues in Asia**

アジアの国々の歴史について学びました。授業形態は主に Lecture 形式ですが、たまに Discussion がありました。2 回ほど、本を読んでレポートを書きました。小テストが何度かあります。最終試験はレポートでした。

• **COMM260A: Public Speaking**

歴代の先輩方が受講していたので取りました。主にプレゼンテーションで大切なことを学び、授業内で 3, 4 回プレゼンテーションを行いました。テストは無く、最終試験はプレゼンテーションでした。人数がとても多い授業でした。

• **COMM245A: Social Media**

この授業は珍しく週に 1 回、3 時間ほどの授業でした。（でも実際は 1 時間で終わることが多かったです。）。Social Media の歴史や種類、問題点など、様々な側面から学びます。プレゼンテーションが 2 回ほどありました。最終試験はパワーポイントとレポートの提出だけでした。

• **SOWK265A: Mindfulness Self Compassion**

マインドフルネスについて学びました。少人数のクラスで授業前に教科書を読んでいく必要がありました。宿題は毎週ありました。先生がとても優しい人でした。最終試験はプレゼンテーションでした。

• **MBU101: Planning your MBU Degree**

1 回生が受ける授業です。主に大学生活について学びました。週 1 回で人数もとても多かったです。授業形式は Lecture スタイルでした。レポートが何度かありました。

• **JPANS380 X01: Teaching Assistant for Japanese 101**

日本語クラスのアシスタントをしていました。クラス内は比較的人数が多かったですが、一人一人と関わる時間もありました。主に聞かれたことに対して答えたり、一緒にペアワークをしたりしました。

• **DAN150A: Performance Dance Group**

体を動かす授業を取りたかったのでダンスの授業を取りました。他にも様々なクラスがあったのですが、先生のおすすめでこのクラスを取りました。けれど、このクラスはダンス経験者ばかりの授業でついていくことも大変でした。しかし、最後の発表会では 3 曲踊れたので楽しかったです。

春学期

• **COMM280A: Intercultural Communication**

異文化コミュニケーションについて学びたかったので受講しました。クラス内は様々な人種の生徒さんが40人ほどいました。主にクラス内での Discussion が多かったです。先生がとても優しい人で、私には日本の事について聞いてくださったり、毎回気遣ったりしてくださいました。途中クイズが3回ほどありました。学期末はプレゼンテーションとテストがありました。

・ **ED205A: Characteristics of Exceptionality**

主に先生になるための授業でしたが、自閉症や様々な学習障がいを持った子供たちに対してどのように対応するべきか、どのような学習方法を使うべきかなどこれらに関する多くの事を学びました。教育方法だけでなく、今まで知らなかった様々な障がいや、学習障がいについて学ぶことができました。クラスは Discussion 形式でした。最終試験はオンラインでテストがありました。

・ **COMM260A: Public Relations**

主に会社の広報に大切なことや、様々な宣伝の種類など、ビジネスで使うたくさんのお話を学びました。Intercultural Communication の授業の先生と同じ先生だったので、こちらの授業でも同様に留学生に対してとても優しい先生でした。小テストとレポートが何回かありました。最終試験はプレゼンテーションでした。

・ **SOWK251: Child Welfare Services**

トラウマを持った人や虐待を受けた子供たちについて学ぶ授業です。少人数のクラスで、教科書メインで進める授業と、週1で Discussion メインの授業がありました。宿題がとても多かったですが、慣れてきたらなんとか乗り切ることができたと思います。小テストが4回ほどありました。最終試験はテストがありました。

・ **ENG204A: Children's/Young Adult Literature**

ゼミの単位交換のためにこの授業を取りました。子供向け、若者向けの文学作品をたくさん読みます。授業前に予習として必ず本を読みます。授業当日はその本について Discussion が行われます。3回ほどのレポートとプレゼンテーションがありました。最終試験はなく、代わりにレポートがありました。

・ **DAN151A: Broadway Jazz Dance**

秋学期に引き続きダンスの授業を取りました。この授業は初心者の生徒が多かった気がします。なので、楽しくゆるやかな授業でした。ダンスだけでなくストレッチをしたり、JAZZ のステップなども学びました。最終試験はレポートがありました。

・ **JPNS380 X01: Teaching Assistant For JPNS102**

秋学期に引き続き、日本語クラスのアシスタントを週3回していました。人数は8人ほどだったのでクラス全体が和やかな感じでした。一度だけみんなで近くのアイスクリームショップに行きました。最後は全員で写真を撮り、先生からお礼の手紙とプレゼントをもらい

ました。とてもうれしかったです。

・ **PHE179A: Horseback Riding**

この授業は春学期の半分だけありました。行きたい曜日を選べたのですが、私は授業の都合で夕方から夜にかけての授業を選びました。先生一人に対して生徒は私含め 3 人いました。最後は実技経験がありました。この授業は追加でお金を払いました。

・ **SPAN277: Span and Latinx Comm VA and DC**

May term の時にこの授業を取りました。このクラスは言語を学ぶのではなく、文化を学ぶクラスです。主にラテン系やスパニッシュ系の文化を学びました。また、このクラスの特徴は色んなところに連れていってくれます。最後には D.C に連れて行ってくれました。たくさんいろいろな経験ができるので最後にこのクラスを受講できてよかったと思いました。最後はプレゼンテーションでテストはありませんでした。追加でお金を払いました。

◆ **授業、レポート、定期試験**

授業は Discussion 形式がほとんどでした。先生からの講義もありましたが、生徒同士が意見交換する機会が多かったです。レポートは毎週たくさん出されました。だいたい 3 枚から 4 枚書きました。5 枚以上書いたときもありました。定期試験は最後だけじゃなくて、何度か試験はありました。だいたいの授業は事前にクイズがあることを知らされましたが、ある授業は抜き打ちでテストがありました。最後の定期試験はテストもありましたが、プレゼンテーションが多かったです。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

COSMOS という留学生が集まっているクラブに入っていました。コロナの影響であまり活動はありませんでしたが、留学生だけでなく、現地の学生も参加するのでたくさんのお友達ことができました。映画を見たり、お互いの国を紹介したり、洞窟に行ったりしました。

⑧ **現地での住まい**

寮は PEG という主に 10 代の学生が住んでいる寮に住んでいました。とてもきれいな寮でした。ホームステイ制度はありませんでした。初めはストーブが壊れていたのですが、なかなか修理がされませんでした。でもその後、何度か連絡したのち修理をしてくださいました。私の部屋があるフロアにはリビングルームがあり、そこには冷蔵庫もあり、簡単な料理もできました。食事は食堂かカフェでとることができます。食堂には様々な種類の料理があるので、選ぶことができます。教室までは寮から徒歩 5 分もかかりません。とても近いです。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

旅行に行きました。Fall break 中は友達と 2 人で New York へ。Winter break は LA, Florida, Boston, New York に行きました。一人旅行の時間もあり、とてもいい経験をしたと思います。また、Spring break は Las Vegas に行きました。また帰国直前にナイアガラの滝に行

きました。ホームステイ制度がなかったので、友達の家泊まったりはしませんでした。

⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

英語が使える仕事を探したり、実際に面接を受けたりしていました。あまりじっくりと時間をかけてはできませんでしたが、隙間時間に就職活動をしていました。

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

今思えば授業も休日もすべてが楽しかったです。特に留学先でできた友達と食事の時間にお話しする時間がとても楽しかったです。また、ルームメイトが同じ日本人だったので一緒に夜中遅くまで語り合った時間も今思えば貴重な経験だったなあと感じます。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

辛かったことは授業になかなかついていけなかったことです。まず現地の学生の会話のスピードについていくことができず、Discussionにもなかなか参加できませんでした。また、課題の量が多かったので、一つ一つこなしていくことが大変でした。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

あまりありませんでした。きっと色々あったとは思いましたが、あまり気にすることなく過ごせたのではないかと思います。

III. 留学希望者へのアドバイス

① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は人が本当に優しいところです。正直こんなに優しい人達に会えるとは思っていませんでした。留学中はたくさん話しかけてもらったり、遊ぼうと声をかけてもらったりしました。悪かった点はあまり思いつきませんが、一つあげるなら周りにおでかけするところがあまり無いところです。スーパーなどは15分ほど歩けば行けますが、遊びに行く時は友達の人に車に乗せてもらうことがほとんどでした。

② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須です。授業で必ず使います。また、シャンプーや化粧品類もアメリカのものは刺激が強い者もあるので、もし肌が弱かったら持って行ったほうがいいかもしれません。あと私はティッシュをよく使うので持って行ってよかったです。また、日本食もあつたらいいと思います。

③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

スピーキング力とリスニング力は格段に伸びたと思います。TOEICのスコアもかなり伸びました。また、自分の考え方や世界観もかなり変わりました。様々なことが自分のための成長になったと思います。

④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

もし少しでも興味があるならぜひ行ってください！！私は留学に行くまで、日本からも出たこと無い人間でしたが、そんな私でも乗り越えることができました。留学に行けば数えきれない経験がたくさんできます！

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

私には幼い頃からの夢があるので、その夢に向かっていまからもっと勉強しようと思います。

V. 写真



日本語クラスの最後の授業でみんなと撮った写真です。全員はそろいませんでしたが、みんなと最後一緒に楽しむことができうれしかったです。最後の授業、先生がお味噌汁とおにぎりを持ってきてくださいました。先生の抹茶クッキーは最高においしかったです。



留学生の友達と現地の友達とスケートに遊びに行った時の写真です。留学生のみんなとは出会って数日後だったので、たくさんお話しをしながら一緒に楽しむことができました。



COSMOSのメンバーで集まったときに撮った写真です。春学期から他の留学生が合流したので一緒に過ごす時間は短かったですが、とても楽しい思い出がたくさんできました。



May Term の時にとった授業でワシントンに Field trip に行ったときに撮った写真です。この 4 人と同じ部屋だったのですが、夜はみんなでダンスを踊ったり、最後の楽しい思い出になりました。